

# 最先端のデジタルデザイン学

## 広島工業大学

環境学部建築デザイン学科は、新しいデジタルデザイン技術を身に付けてもらうため、「BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）実習」を含めた体系的な3つのデジタルデザイン系科目を開設している。一部の学生は履修後のゼミで小規模の仮設建築を設計・制作する＝写真。

デジタルデザイン系科目では、対象となる1、2年生が3Dデザイン技術の基礎を学んだあと最先端のデジタル加工機の扱いを習得する。最後の「BIM実習」では、設計段階で素材や価格などさまざまなデータを加えることで施工から維持管理までの情報を

統合するBIMを使い、CAD（コンピューター支援設計システム）に代わる新しい設計方法について学ぶ。

BIM実習は毎年50～60人が履修。担当の杉田宗准教授は「本学のBIM設計が広島の建築業界に好影響を与え、全国に優秀な人材を送り出す起点となれば」と話している。

